

「夢ワカメ・ワークショップ」について

当法人は、関東地方の港湾・空港について歴史や文化を尊重しながら広く一般市民に交流の場を提供し、その重要性を啓発する活動を行うことにより沿岸環境を保全し、これと調和する豊かな社会の形成に寄与する事を目的として、平成 16 年 7 月 1 日に設立されました。以来今日まで、会員のボランティア活動を中心にして諸活動を行っています。

その一つとして、「夢ワカメ・ワークショップ」—横浜港におけるワカメの育成による海域浄化を目的とする事業—を関係機関と共同で実施してまいりました。

横浜港において、海域環境を改善することによって、港湾及び海辺に対するイメージアップを図る事は、横浜港の活性化に大きく寄与するものと考えます。

海藻が海水中の栄養塩を利用して生育する事から、海藻育成を通じて富栄養化した水質を浄化しようとするものです。

このワークショップは、神奈川の海を、ワカメを育成しながら子供たちの環境教育・学習の場として活用することで、「子供たちの海への関心が高まること、ワカメの育成を通じて環境改善の大切さや、人と人のつながりの大切さ、おもしろさを知ること」を目的としています。

事業内容：

主催：夢ワカメワークショップ実行委員会

(海辺づくり研究会、NPO みなとサポート、ほか 11 団体)

1. ワカメ生育ロープ設置 (R3 年 11 月 27 日 (土))

大竹で筏を組み、ワカメを親縄ごとに、結束した種糸を岸壁から垂下させる。

(今回は、コロナ禍であり、小学生や家族連れは不参加でスタッフのみの作業であった。)

当みなとサポートからは、18 人のスタッフが参加した。

筏の完成



筏を定位置に設置



ロープにワカメの種付け



2. ワカメの生育状況の確認（2回目、R3年12月25日）

種付けしたワカメがすこぶる順調に生育していることを水中でダイバーが確認

